

しゃきょう

令和5年9月1日発行 第469号

発行 八丈町社会福祉協議会
八丈町三根2番地
TEL 04996-2-2609
FAX 04996-2-4655
心配ごと相談 TEL 2-5000
Eメール info@8jo-syakyo.or.jp
HP http://8jo-syakyo.or.jp/



社協では令和2年度～6年度に掛けて、第3次みつわ計画に基づき事業を行っていきます。

受験生チャレンジ支援貸付のご案内

本事業貸付金は、学習塾などの費用や、高校や大学などの受験費用などについて貸付けを行うことにより、一定所得以下の世帯の子どもへの支援を目的とした貸付金です。

世帯収入（父母等養育者）の総収入または合計所得金額を合算した金額が一定の基準以下であること。給与収入と年金収入のみの場合は下記の表①に基づき、総収入が基準以下であること。事業所得や雑所得等がある場合は下記の表②に基づき、合計所得金額が基準以下であれば対象になります。

表① 【総収入／給与収入と年金収入（年間）】（給与収入と年金収入のみの場合）

世帯人数	2人	3人	4人	5人	6人
一般世帯	—	4,410,000円	5,049,000円	5,737,000円	6,522,000円
ひとり親世帯	4,057,000円	4,966,000円	5,772,000円	6,396,000円	7,228,000円

表② 【合計所得金額／事業所得等（年間）】（事業所得や雑所得等がある場合）

世帯人数	2人	3人	4人	5人	6人
一般世帯	—	3,087,000円	3,599,000円	4,149,000円	4,776,000円
ひとり親世帯	2,805,000円	3,532,000円	4,175,000円	4,674,000円	5,405,000円

貸付内容 本貸付は無利子で、対象となる高校や大学などに入学した場合、申請により返済が免除されます。対象となる貸付金の内容は以下のとおりです。

○学習塾等受講料・受験料

貸付対象者	貸付限度額	
	学習塾等受講料	受験料
中学3年生とそれに準ずるもの	200,000円	27,400円
高校3年生とそれに準ずるもの	200,000円	80,000円



○受験に伴う交通費・宿泊費

高校・大学等受験料に交通費（島しょ地域からの船賃、航空賃）と宿泊費を加算して借入申込ができます。

対象となる子供の居住地	往復交通費 (上限額)	宿泊費 (原則上限3泊)	合計 (上限額)
八丈町	30,000円	30,000円	60,000円

借入申込みから申請者の口座に送金されるまでに時間を要する場合がございますので、申込みを希望される方は早めにご相談ください。また、必要書類など詳しくはお問い合わせください。

【お問い合わせ】 TEL 2-2609 担当 中島

生活福祉資金貸付制度

教育支援資金のいこ案内

「生活福祉資金貸付制度」は、所得の少ない世帯等を対象に、生活の安定と経済的自立を図ることを目的とする社会福祉制度です。

この資金には様々な種類がありますが、その一つに「教育支援資金」があります。この資金は入学金や学費の貸付によって、教育を受けられるよう支援し、世帯の自立を促します。

他の公的制度が優先されます

この資金は他制度優先が原則です。大学等への進学の場合は、その修学を支援する「高等教育の修学支援新制度（授業料等免除と給付型奨学金）」については、利用を最優先とします。そのため、日本学生支援機構の「給付型奨学金」と「第一種奨学金」の申請は必須となります。教育支援資金のご利用を検討している方は、右記の奨学金について在学中の学校へご相談ください。

これらの公的制度を利用しても、なお学費等が不足する場合に教育支援資金貸付の対象となります。この資金は相談から貸付に至るまで、約1ヶ月掛ります。大学や専門学校などへの進学を予定されている方で、借り入れを希望する方は、進学希望校が決まった段階でお早めに社協へご相談ください。

【お問い合わせ】

TEL 2-2609

担当 菊池孔介

ご寄附いただきまして、誠にありがとうございます。皆様からいただきましたご寄附は、高齢者や障がい者の方々の在宅福祉サービスなど、島の福祉のために大切に使わせていただきます。

寄附者一覧



菊池 あけみ 殿（中之郷）	100,000円
金川 宣子 殿（三根）	100,000円
亡夫（廣一 殿）の	
忌明けに際して	
亡夫（温 殿）の	
忌明けに際して	

◎教育支援資金貸付内容・限度額（無利子・返済期間最長14年）

	・高等学校 ・専修学校 (高等課程)	高等専門学校	・短期大学 ・専修学校 (専門課程)	大学
就学支度費（入学金） (貸付上限額)	500,000円			
教育支援費（学費に限る） (月額上限額)	35,000円	60,000円	60,000円	65,000円
特に必要な場合 (貸付上限額の1.5倍)	52,500円	90,000円	90,000円	97,500円

特に必要な場合とは：通常の貸付上限額では学費が不足し、必要性が認められる場合は貸付上限額の1.5倍の額まで貸付を行います。

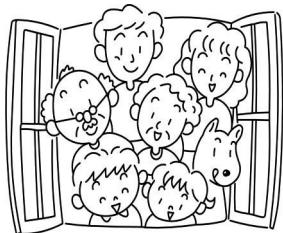
◎教育支援資金の貸付対象となる収入基準（世帯の月収が下記の金額を超えないこと）

世帯人員	2人	3人	4人	5人
低所得世帯	272,000円	335,000円	385,000円	425,000円

「地域声かけ事業に関する懇談会」のお知らせ

社協では10月のあいさつ運動の実施に際して、下記の日程で懇談会を開催します。

少子高齢化が進む中、地域住民同士の支えい合いは益々重要になってきます。懇談会では、地域住民同士の交流の活性化について、皆様と情報交換を行いたいと思いますので、是非ご参加ください。

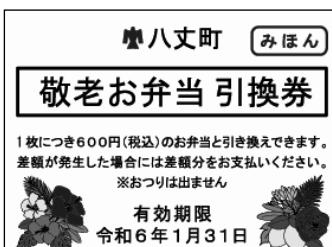


【内 容】 あいさつや声かけに関する意見交換等
【日 時】 令和5年9月20日（水） 14時～16時
【場 所】 三根公民館 和室
【お問い合わせ】 Tel 2-2609 担当 菊池孔介

令和6年1月31日 期限内にご利用ください。

お弁当引換券の有効期限

この事業では島内に住民票のある70歳以上の方を対象に、1枚当たり600円相当のお弁当引換券を2枚ずつ9月中旬に郵送にて配布する予定です。
お弁当引換券は島内のスーパーのお弁当や飲食店のテイクアウト（お持ち帰り）等で利用出来ます。店舗によっては、予約が必要な場合があるなど、ご利用条件が異なりますので、ご利用の際には、お弁当引換券に同封するお手紙をご確認ください。
来年は敬老会を実施出来ることを祈りつつ、今年度はお弁当引換券をお楽しみください。



社協では、例年各地域婦人会や八丈町と敬老会を共催してきましたが、今年度も新型コロナウイルスの影響により、敬老会は中止となりました。

そこで今年度も代替事業として、高齢者の皆

様の長寿をお祝いするため「八丈町敬老お弁当引換券配布事業」を行うことになりました。社協では、この事業実施に伴い広報やお弁当引換券の発送の協力を致します。

この事業では島内に住民票のある70歳以上の方を対象に、1枚当たり600円相当のお弁当引換券を2枚ずつ9月中旬に郵送にて配布する予定です。

9月のサロンは、左記の日程で実施する予定です。まだまだ暑い日が続きますので、こまめな水分補給を心掛けながら、健康に留意して楽しみましょう。

・坂上地域 9月15日（金）
中之郷公民館

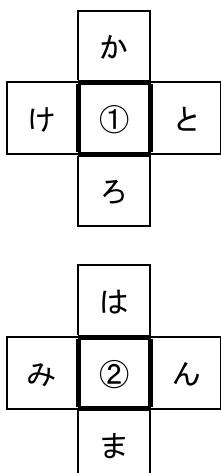
・坂下地域 9月25日（月）
社協第2事務所

両会場共、10時～11時30分です

【お問い合わせ】 Tel 2-2609

担当 中島

お家でサロンクイズ



サロンではクイズやゲームで楽しんでいます。左の①・②に入る文字は何でしょう？ 答えは4面です。

9月のサロン日程

ボランティアコーナーだよ!!

歯髄移植やノートなどを 送りました

「ハローアルソン・フリーピン医療を支える会」とは

「椿の実ひろい運動」に
ご協力お願いします

社協では、ボランティア事業の一環として、9月～11月の期間「椿の実ひろい運動」を行います。毎年、住民の皆様に椿の実を拾っていた

だき、大島の製油所で油を搾り、社協で販売しています。この売上はボランティア活動推進のために活用する予定です。

回収箱は以下の場所に置かせていただきます。また、「連絡ください」とも伺います。今年も「椿の実ひろい運動」にご協力よろしくお願いいたします。

【お問い合わせ】

TEL 2-50000 担当 菊池学

お願い



【椿の実回収箱設置場所】

三根

公民館

ハーストア

あめのもり商店

三根小学校

社会福祉協議会

大賀郷

公民館

スーパーあさぬま

大賀郷小学校

大賀郷中学校

ハ丈高等学校

桙立

公民館

富次郎商店

中之郷

公民館

三原小学校

三原中学校

ハ丈ストアミミー店

末吉

- ・ビニール袋に入れて保管すると蒸れてカビたり、腐ってしまうため、ダンボールや紙袋に入れて保管してくださるようお願いします。
- ・私有地に入り実を拾つことはおやめください。



- ・歯ブラシ 43本
- ・フェイスタオル 28枚
- ・ハンドタオル 2枚
- ・その他のタオル 6枚
- ・固形石鹼 40個
- ・ノート 257冊、他

以下はHPより抜粋です。

私達の目の前に現れた一人の男子、アルソン君。彼は貧困のために1本の歯ブラシも買えず、幼くして前歯4本を失うほどの重度の虫歯に冒されていました。

彼のように、貧困のため治療を受ける事が出来ないスラムの子供達は、痛みが出来ば「抜歯」(歯を抜く治療)しかありません。

人間が楽しく健康に生き、栄養を摂取するために必要不可欠な大切な歯を、スマートの子供達は幼くして次々と失っています。そして日本では治せるはずの大切な歯を失い、血だらけのガーゼを噛みながらそれでも「Thank You」と微笑む彼ら!、私達は自分たちの無力さと世界の現実を感じました。

そして、もう二度とアルソン君のような子供を作らないという思いから「ハローアルソン!」が生まれました。(https://www.helloalson.com/)

の日で募集しました收集ボトルティアですが、住民の皆様から左記の通り物品の寄附を頂き、「ハローアルソン・フリーピン医療を支える会」に送付しました。

市近郊のスラムにて、「極貧層」の人たちを対象に無償の歯科治療と歯ブラシやタオルなどの生活物資の支援活動を行っている団体です。